

全国農業



2021年(令和3年)

9月3日 金曜日
月4回金曜日発行

人が育ち
育ち支え
支え

農の雇用



89

【山梨】 笛吹市一宮町の(有)マルサフルーツ古屋農園(古屋貞二代表取締役)は、桃・ブドウなど果樹の生産と加工・販売を行っている農業法人だ。同法人は次世代の担い手を育成するため、雇用就農を積極的に進める中で農の雇用事業を活用し、2009年から現在までに21人の新規就農者を育てている。

古屋代表は同事業について「法人としての理念を理解してもらいながら、農業の担い手を育てていける貴重な事業だと思っている。人材育成の負担が軽減されるので助かっている」と話す。また、雇用者を指導する上で大切にしていることについては「すべての作業を経験し、自分で考え行動すること」だという。細かいことまで口で伝えることは

笛吹市 マルサフルーツ古屋農園

海沼 峻さん

「学べる環境 ありがたい」

すべて体験 自分で考え行動



収穫した桃を手にする古屋代表(右)と海沼さん

が貸与され、栽培から収穫販売まで一貫して行うこととなる。古屋代表の指導方針が徹底されている。

現在、同法人で働いている海沼峻さんは「給料をもらいながら学べる環境があるのは、とてもありがたい。技術と知識をしっかりと身につけて、一人前の農業者として地域農業に貢献できるといい」と意気込みを語る。

問い合わせは、マルサフ

同法人に採用され、一定期間が過ぎると農地1区画
3・47・12002)まで。

関東